

教員名	熊澤利和	所属学科	地域づくり学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>熊澤研究室では、医療や福祉の現場で生じる課題に対するソーシャルワークを専門領域としています。近年の課題として、「終末期医療における意思決定支援」「医療福祉におけるスピリチュアルケア」「地域福祉計画に対する政策的評価」「看護師や介護福祉士等の職員のストレス」などから研究をしています。</p> <p>この演習では、皆さんがこれまで学習をしてきたことを踏まえ、援助者と当事者（医療者と患者）のズレ（考え方や受け止め方など）に着目し、「問い」をたてるための技法とその謎を解くための方法について学び、学習スキルの深化を図ります。最終的には、指導のもとに各自の問題意識から「問い」をたて、その答えを見つけるプロセスが歩めることを目標にします。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>◆2019年度 2年生後期の基礎演習では、下記の内容を想定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ファシリテーションの技法について 2) 文献の輪読（『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』） <ul style="list-style-type: none"> —合理的な意思決定と逸脱（バイアス）について —意思決定を促す「ナッジ」とシェアード・ディシジョン・メイキング（shared decision making） 3) 「問い」をたてる①：文献の輪読を通して、各自「問い」をたてる 4) 「問い」をたてる②：各自の課題を踏まえて、グループで「問い」を深化させる 5) 文献検索とデータベース化 6) 「問い」の探求①：根拠を調べ、検討する 7) 「問い」の探求②：根拠を確かにするために、討議し、まとめる 8) 相互評価と報告 <p>◆3年生、4年生では、2年生での取り組みを発展・深化させていきます。4年後期は、卒業論文を作成することが中心になります。</p> <p>◆医療福祉と宗教について知るために3年生の5月頃に善光寺（長野）に行きます。</p> <p>◆2018年度は、ゼミ生の希望で、障害者福祉、地域医療に関する文献研究を行いました。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>健康に関連する分野、社会福祉に関連する分野は、仕事として多種多様です。医療施設や社会福祉施設だけではなくありません。企業、国際NGO・NPO、医療メーカー、行政などを視野に入れ、仕事を選ぶとよいと思います。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大竹文雄 平井啓編(2018)『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』,東洋経済新報社 ・ミルトン・メイヤロフ/田村真訳(1987)『ケアの本質-生きることの意味』,ゆみる出版 			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>「地域づくり」は、「実践の科学」だと考えています。地域政策学は、新しい学問領域です。だからチャレンジできることが沢山あります。“In the fields of observation chance favors only the prepared mind.”</p>			